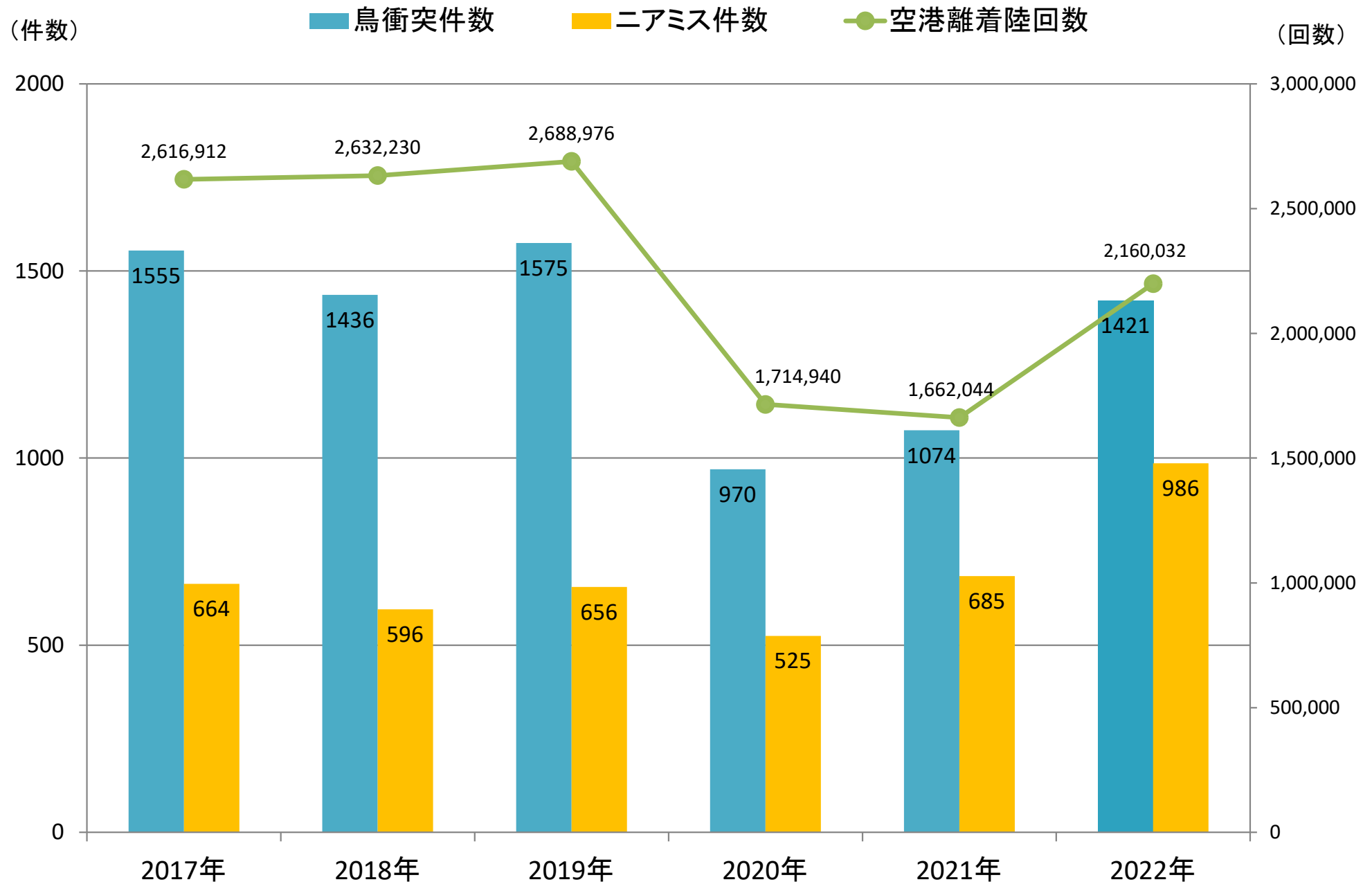


2022(令和4)年 バードストライク データ

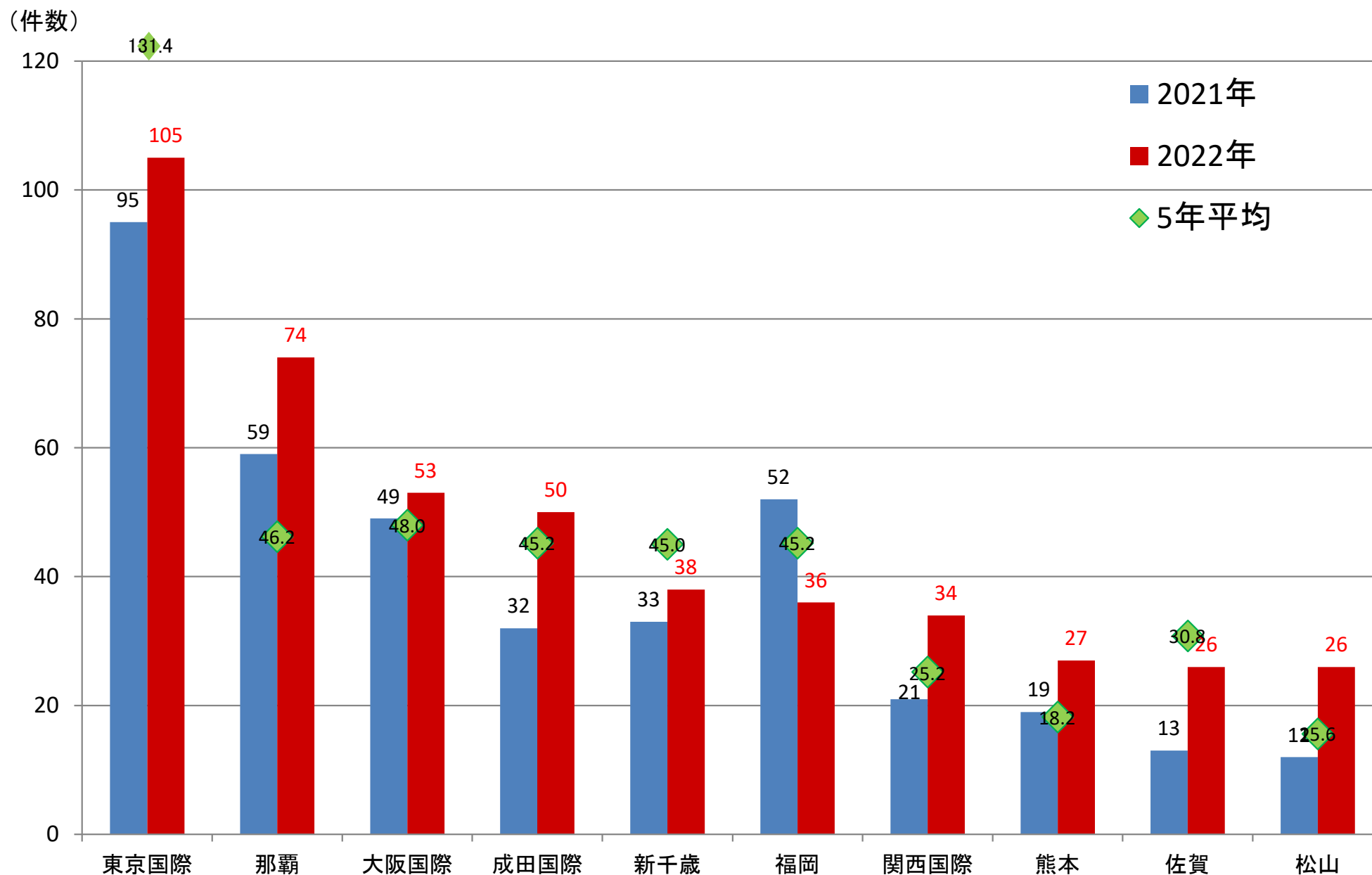
	2021年	2022年	増減
鳥衝突件数	1074	1421	347
ニアミス件数	685	986	301

鳥衝突・鳥とのニアミス件数(2017ー2022年)



※ 2017～2022年の空港離着陸回数は「空港管理状況調書(国土交通省航空局)」の着陸回数を2倍したものであり、およその離着陸回数

【空港別】鳥衝突件数(2021－2022年)

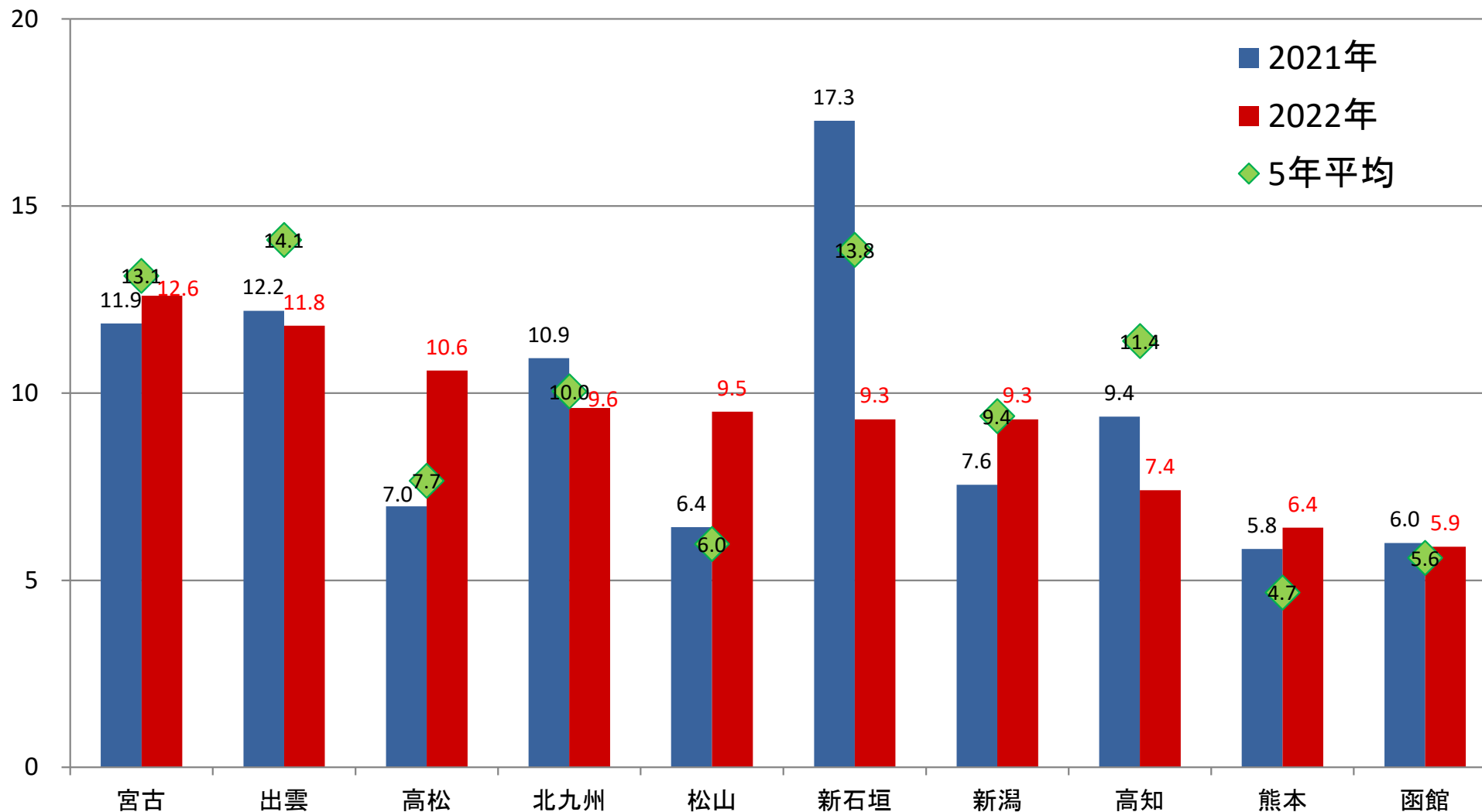


- ※ 2022年の鳥衝突件数の上位10空港を対象
- ※ 5年平均は、2017年から2021年のもの
- ※ 東京国際の5年平均は120件(131.4)を超えるため枠外表示

【空港別】離着陸1万回あたりの鳥衝突件数(2021—2022年)

(年間離着陸回数1万回以上)

(件数／離着陸1万回)



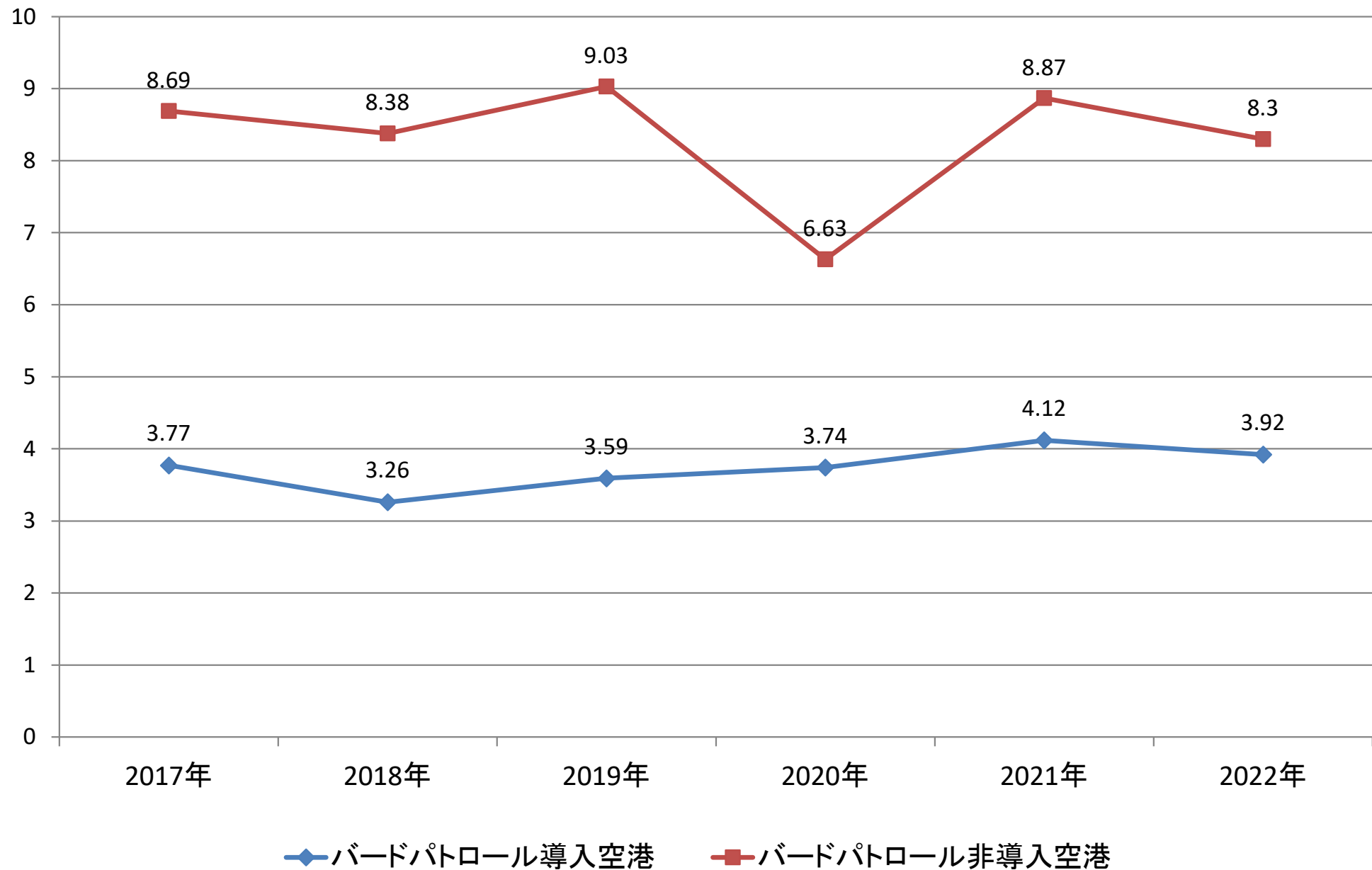
※ 2022年の年間離着陸回数1万回以上の空港で、離着陸1万回あたりの鳥衝突件数の上位10空港を対象

※ 5年平均は、2017年から2021年のもの

※ 離着陸1万回あたりの鳥衝突率＝鳥衝突件数÷離着陸回数×10,000

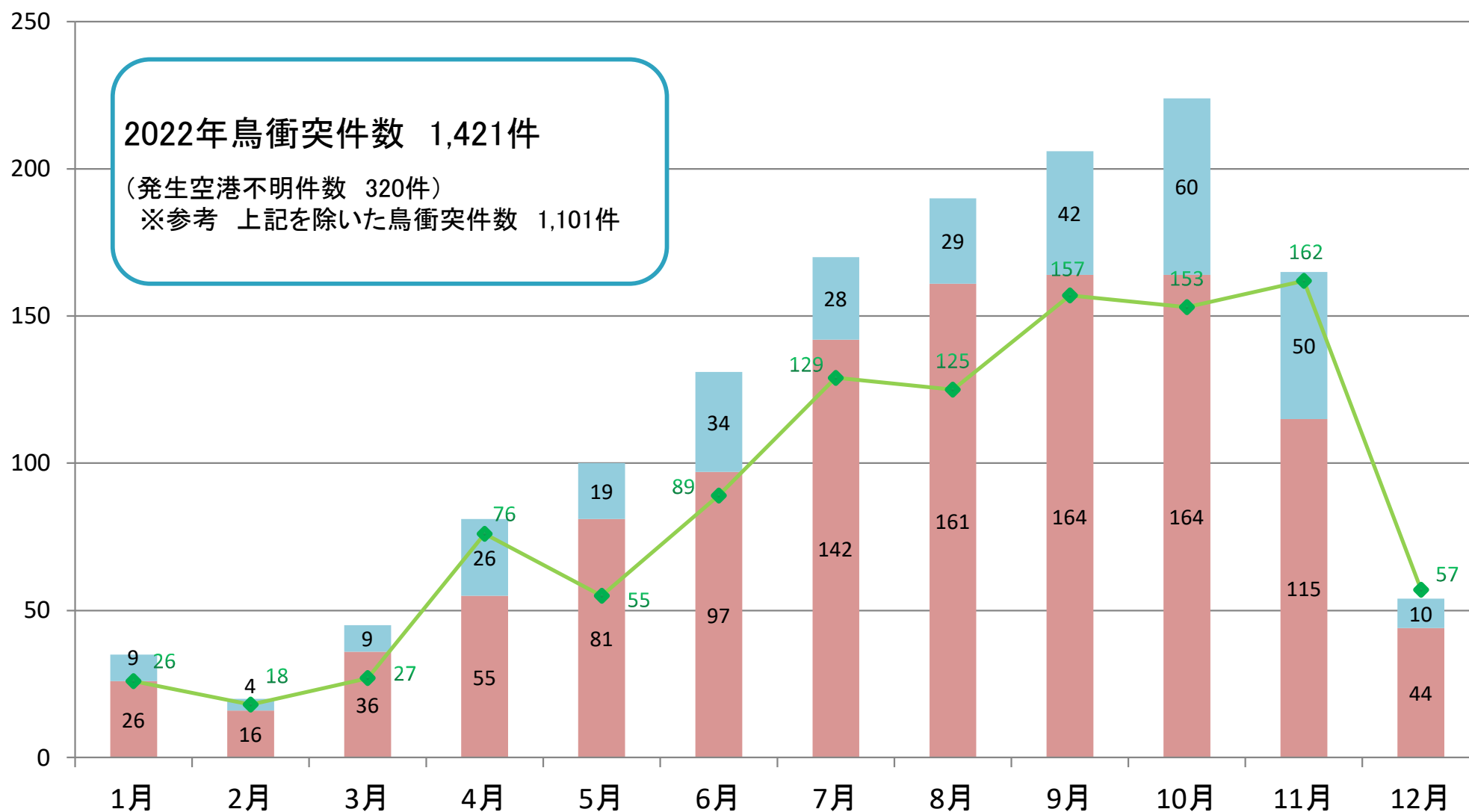
バードパトロールと鳥衝突件数(2017ー2022年)

(件数／離着陸1万回)



【月別】鳥衝突件数(2021－2022年)

(件数)



2021年鳥衝突件数 1074件
(発生空港不明件数 213件)
※参考 上記を除いた鳥衝突件数 861件

2022年空港判明

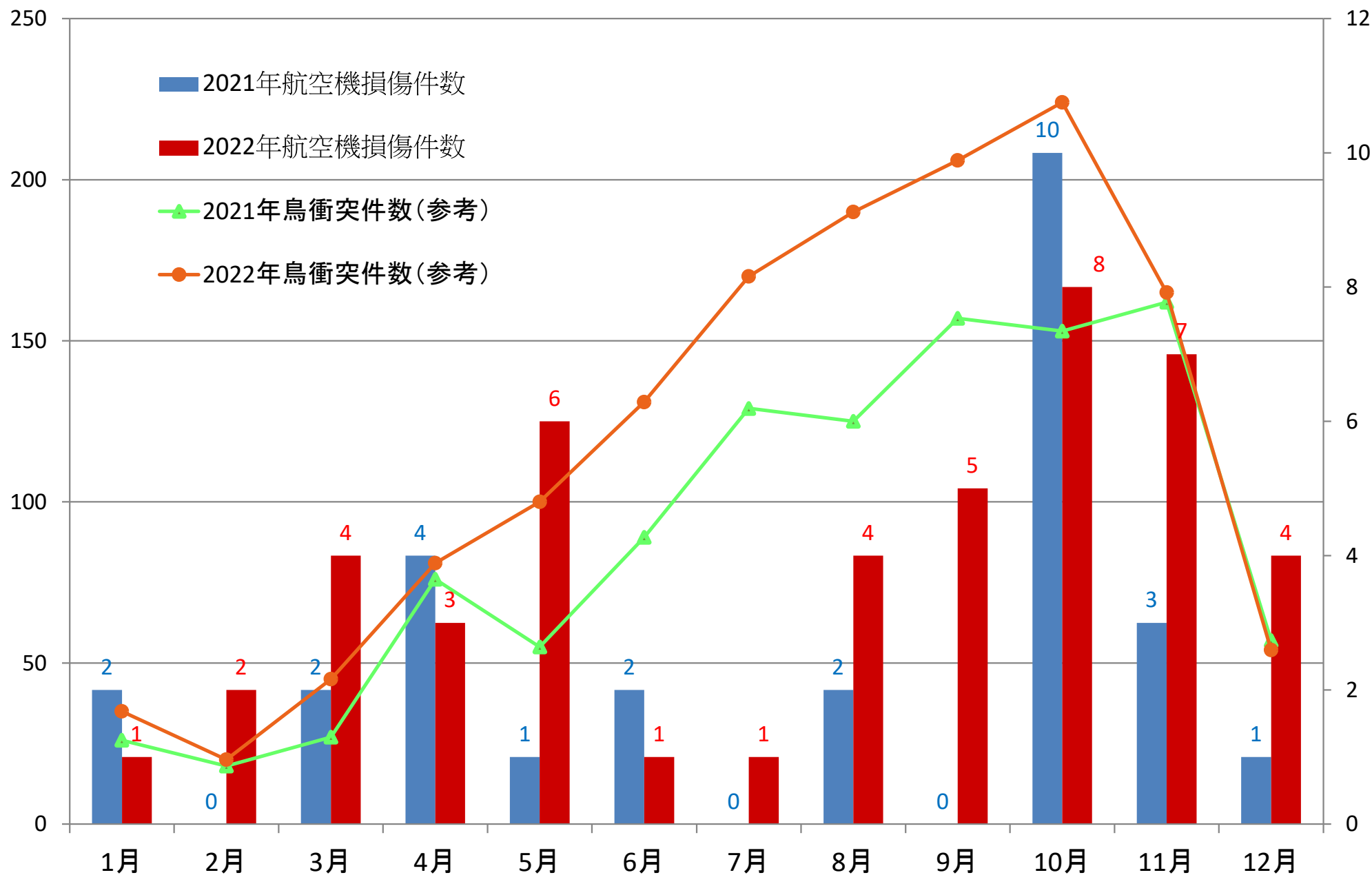
2022年空港不明

2021年(総計)

【月別】航空機損傷件数(2021—2022年)

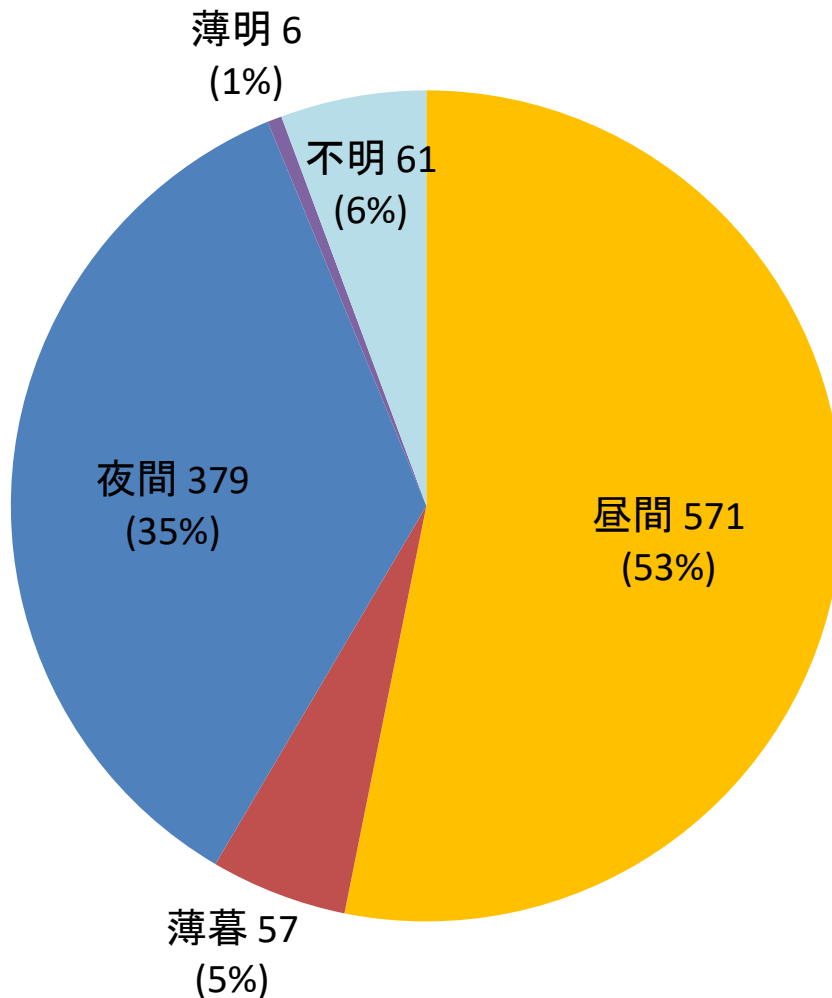
(衝突件数)

(損傷件数)

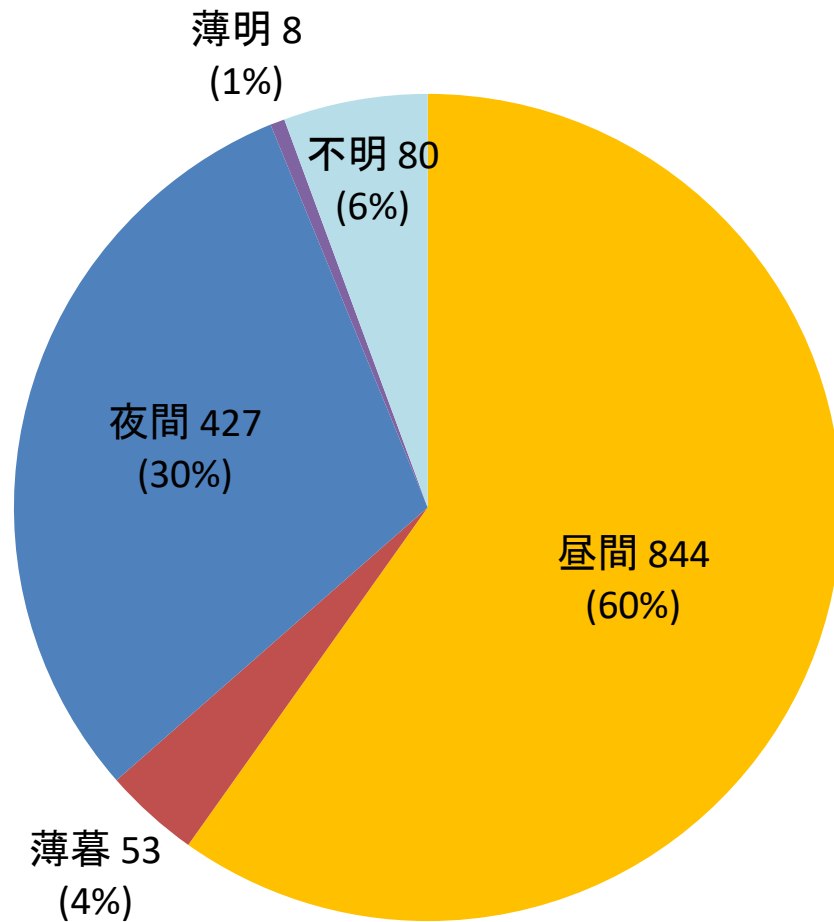


【発生時間帯別】鳥衝突件数(2021－2022年)

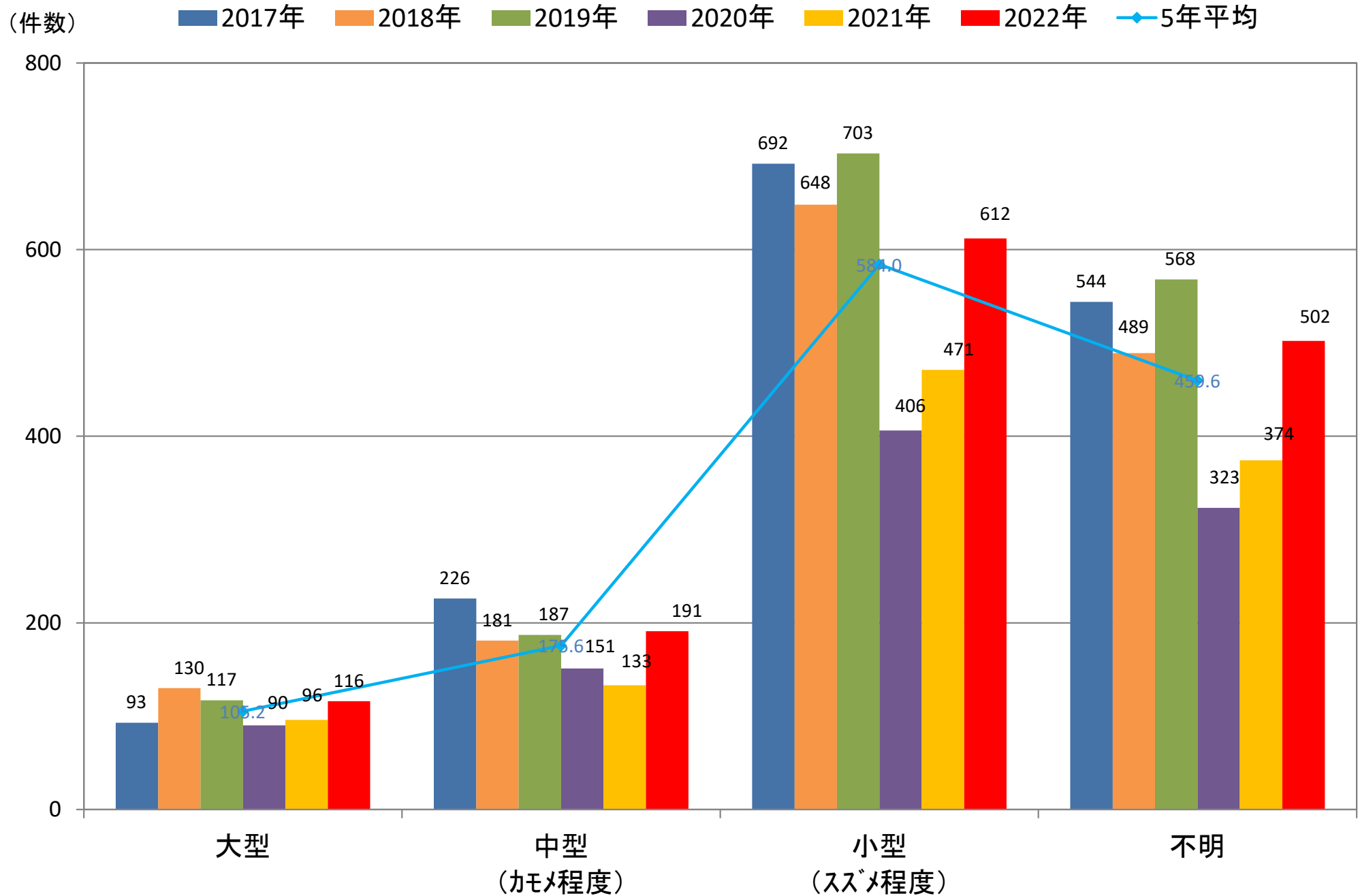
2021年
(衝突件数:1,074件)



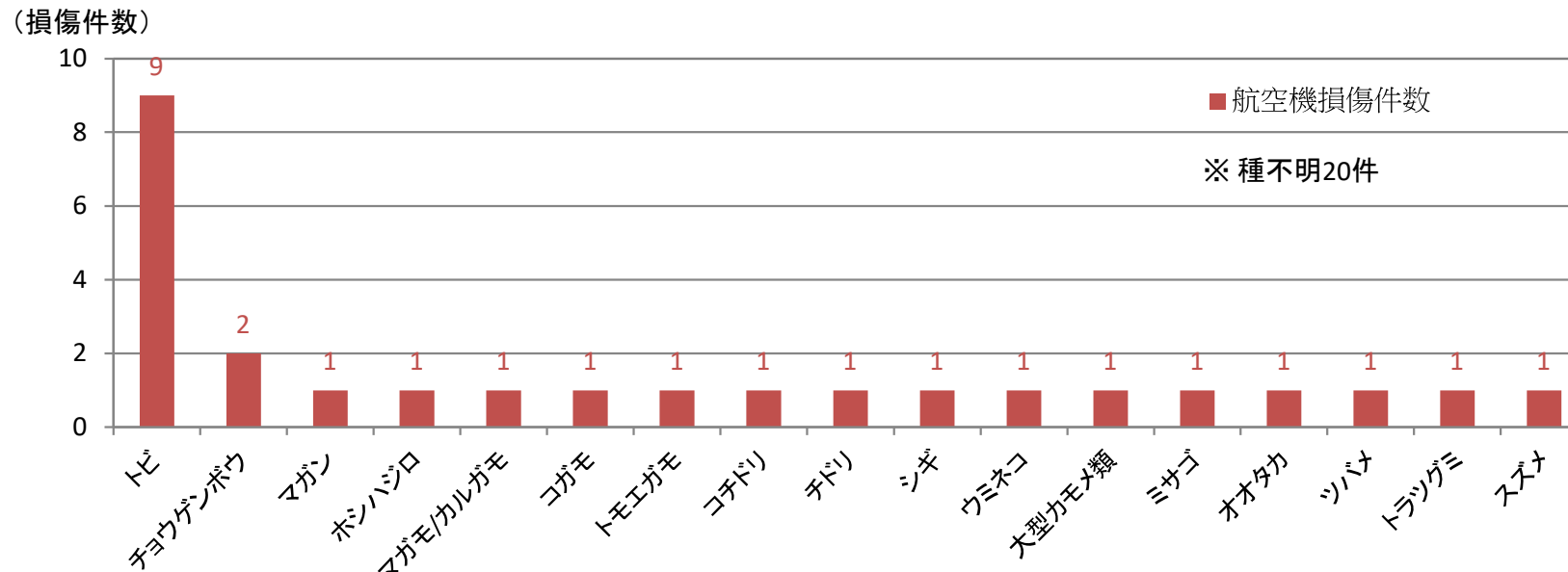
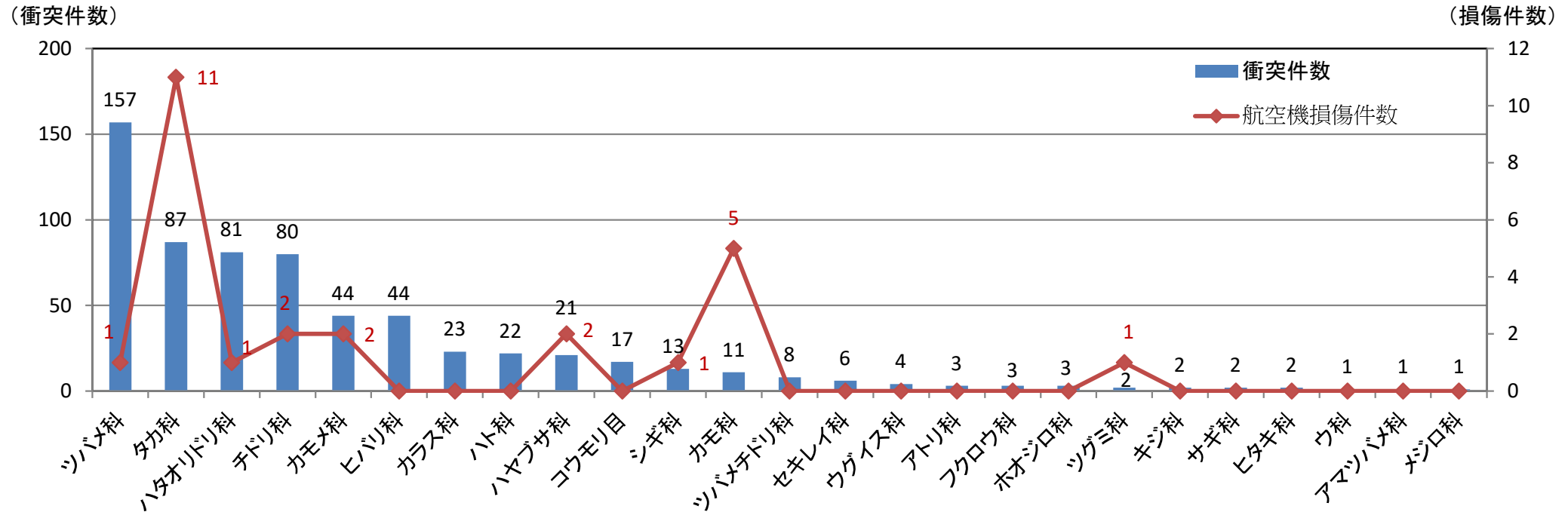
2022年
(衝突件数:1,421件)



【サイズ別】鳥衝突件数(2017ー2022年)



【科別・種別】鳥衝突及び航空機損傷件数(2022年)



※ 科目・鳥種不明の衝突 783件(うち航空機損傷 20件)

※ 鳥種は運航者もしくは機長から報告を受けたもの、または空港管理者にてもしくは航空局の調査にて特定したもの

【鳥種・季節・時間帯別】航空機損傷件数(2022年)

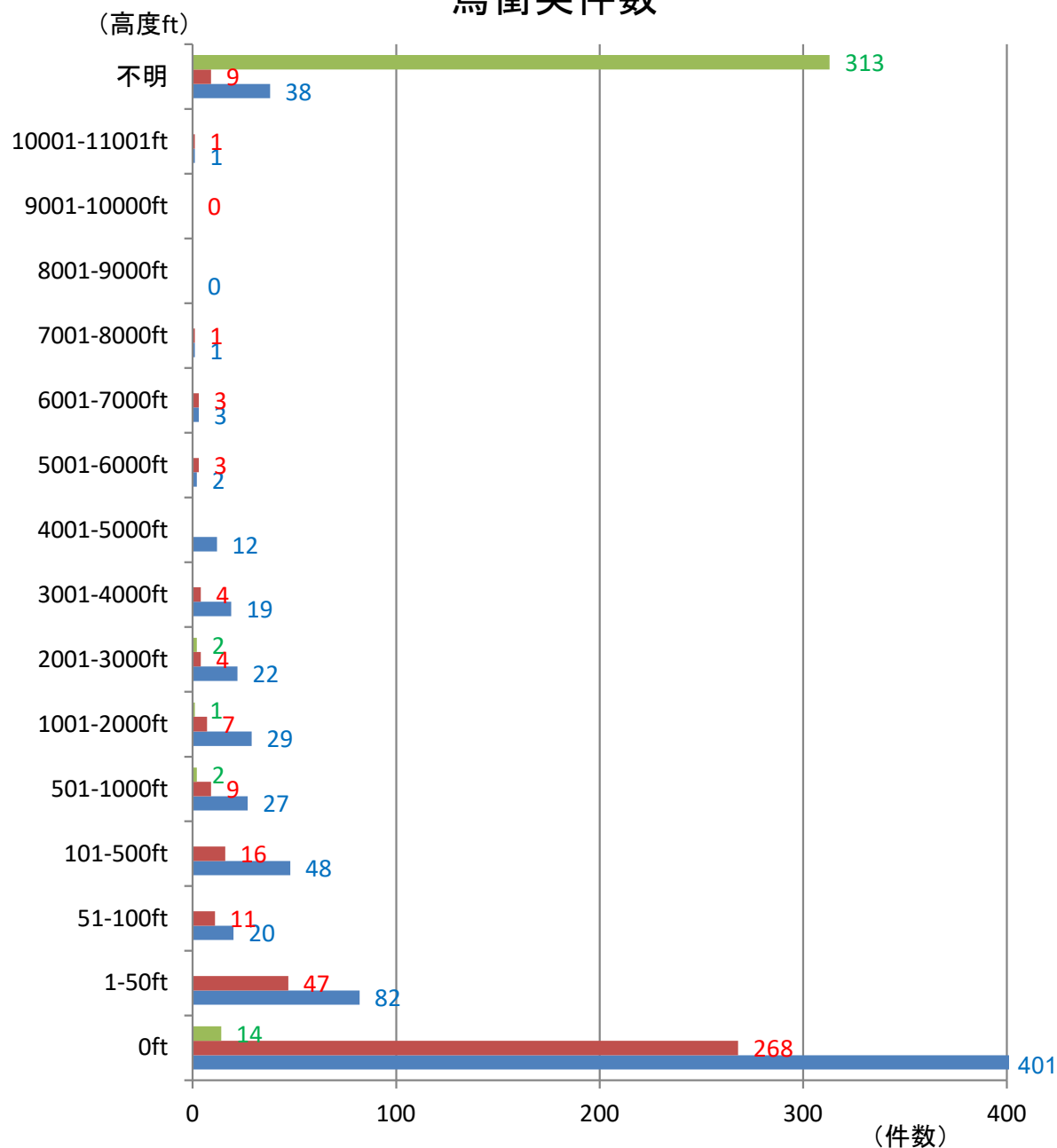
航空機損傷事案(46件)

分類	鳥種	季節別 航空機損傷件数					時間帯別 航空機損傷件数					
		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	計	薄明	昼間	薄暮	夜間	不明	計
カモ科	マガン	1				1				1		1
	ホシハジロ				1	1				1		1
	マガモ/カルガモ				1	1				1		1
	コガモ		1			1		1				1
	トモエガモ	1				1		1				1
チドリ科	コチドリ			1		1		1				1
	チドリ		1			1		1				1
	シギ		1			1		1				1
	ウミネコ			1		1		1				1
	大型カモメ類	1				1		1				1
ミサゴ科	ミサゴ	1				1		1				1
タカ科	トビ	1	2	3	3	9	1	8				9
	オオタカ				1	1		1				1
ハヤブサ科	チョウゲンボウ			1	1	2		2				2
ツバメ科	ツバメ			1		1		1				1
ツグミ科	トラツグミ				1	1				1		1
ハタオリドリ科	スズメ		1			1		1				1
	不明	2	4	3	11	20		7	1	12		20
計		7	10	10	19	46	1	28	1	16	0	46

※ 鳥種は運航者もしくは機長から報告を受けたもの、または空港管理者にてもしくは航空局の調査にて特定したもの

【高度・離着陸別】鳥衝突及び航空機損傷件数(2022年)

鳥衝突件数

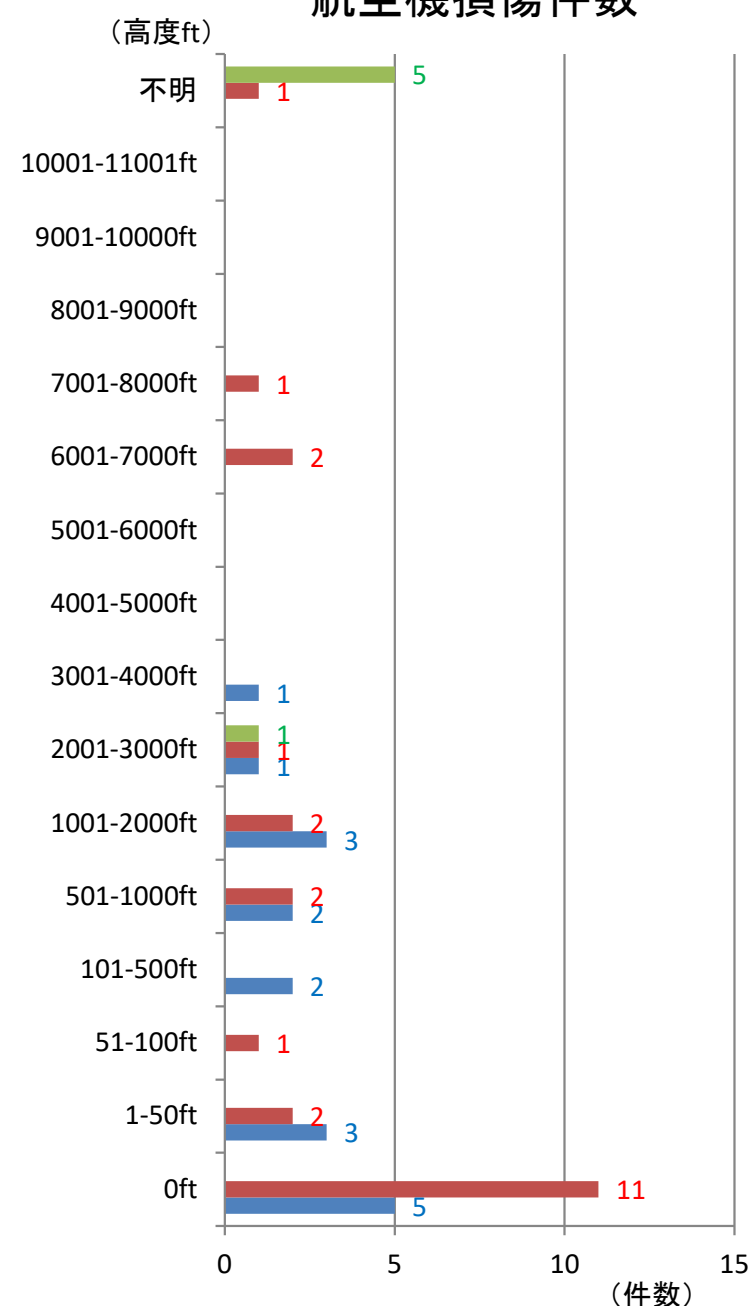


■ その他・不明

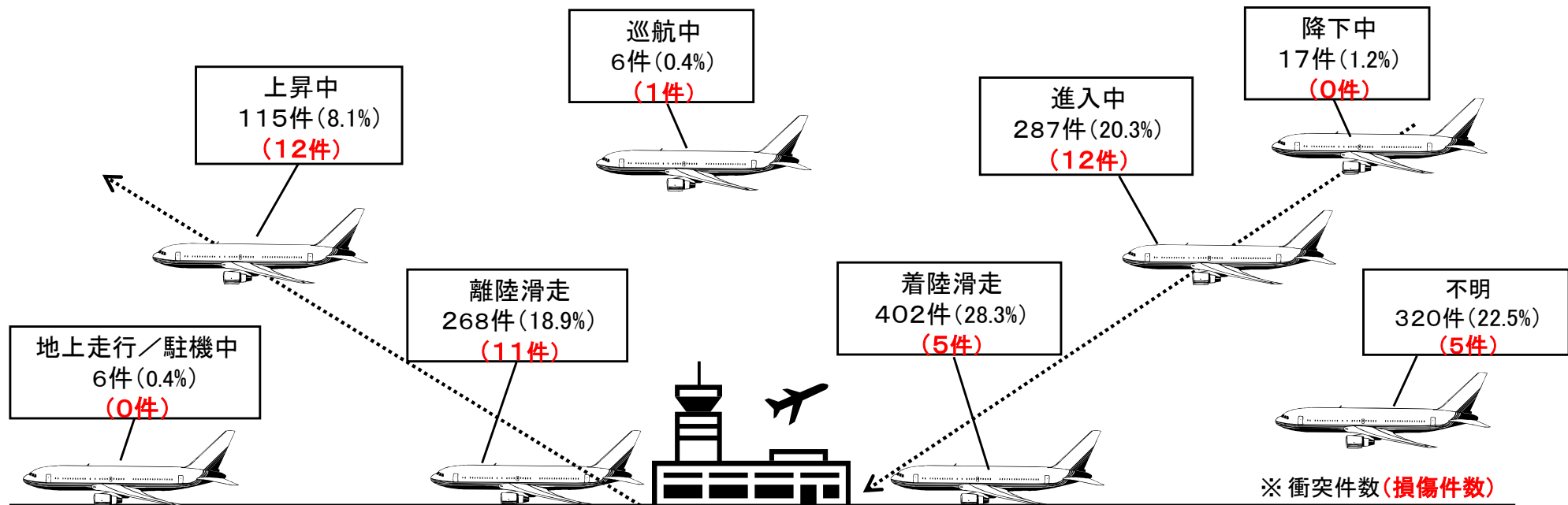
■ 離陸滑走・上昇

■ 降下・進入・着陸滑走

航空機損傷件数

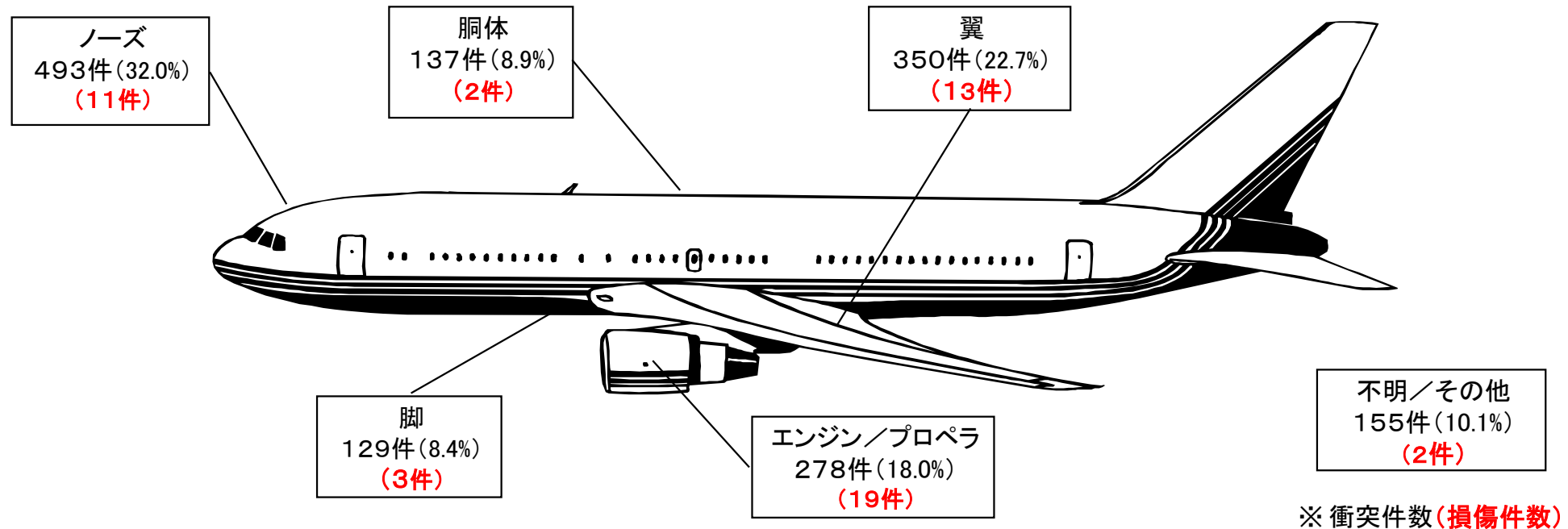


【飛行区分別】鳥衝突及び航空機損傷件数(2022年)



飛行区分	衝突件数(割合)		損傷件数(割合)	
降下中	17	(1.2%)	0	(0.0%)
進入中	287	(20.2%)	12	(26.1%)
着陸滑走	402	(28.3%)	5	(10.9%)
離陸滑走	268	(18.9%)	11	(23.9%)
上昇中	115	(8.1%)	12	(26.1%)
地上走行／駐機中	6	(0.4%)	0	(0.0%)
巡航中	6	(0.4%)	1	(2.2%)
不明	320	(22.5%)	5	(10.9%)

【衝突部位・損傷部位別】鳥衝突及び航空機損傷件数(2022年)



衝突・損傷部位	衝突件数(割合)		損傷件数(割合)	
ノーズ(ウィンドウ、レドームを含む)	493	(32.0%)	11	(22.0%)
胴体(尾部を含む)	137	(8.9%)	2	(4.0%)
翼(フラップ、スラット等を含む)	350	(22.7%)	13	(26.0%)
エンジン／プロペラ	278	(18.0%)	19	(38.0%)
脚	129	(8.4%)	3	(6.0%)
不明／その他	155	(10.1%)	2	(4.0%)

※ 複数箇所は重複して計上

【フライト影響別】鳥衝突及びニアミス件数(2017－2022年) 国土交通省

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
航空事故	0 (0/0)	1 (1/0)	1 (1/0)	1 (1/0)	1 (1/0)	1 (1/0)
計画した飛行の変更 (引き返し・目的地変更など)	21 (20/1)	12 (11/1)	16 (13/3)	9 (8/1)	16 (16/0)	28 (24/4)
離陸中止	12 (2/10)	15 (8/7)	8 (4/4)	15 (4/11)	16 (6/10)	22 (7/15)
進入・着陸復行	1 (0/1)	2 (1/1)	1 (0/1)	4 (1/3)	3 (0/3)	10 (1/9)
鳥衝突による 航空機損傷事案	47	39	53	26	27	46
鳥衝突件数	1,555	1,436	1,575	970	1,074	1,421
ニアミス件数	664	596	656	525	685	986

※本データは、運航者又は機長からの鳥衝突報告に基づきとりまとめたデータである。鳥衝突や鳥とのニアミスに起因したものである(内訳は、鳥衝突／鳥とのニアミスの件数)。

※「航空事故」とは、航空法第76条に定められている「航空機の墜落、衝突又は火災」、「航空機による人の死傷又は物件の損壊」、「航空機内にある者の死亡(自然死等を除く)又は行方不明」、「航行中の航空機の損傷」をいう。